

漁獲情報収集管理事業

島田和彦・七條裕蔵

1. 目的

本県周辺漁業資源の適切な管理を行うため、基礎となる漁獲統計データの収集・管理を行う。また、効率的な情報収集及び利用システムの開発を行う。

本事業を実施するにあたり、毎月のセリ情報を提供して頂いている関係漁協に対しまして、厚くお礼申し上げます。

2. 材料及び方法

販売業務（セリ帳集計）にコンピューターを導入している主な漁業協同組合を対象に、毎日の販売データをフロッピーディスクに保存してもらい、それを漁獲情報とした。また、コンピューターを導入していない漁協については、セリ帳からのデータ入力を水産試験場において実施した。これらの作業のおよその流れを図1に示した。

3. 結果等

22の各漁協及び県漁連市場の情報を収集・保管した。データはマイクロソフト社のアクセスでデータベース化した。今年度は、いくつかの漁協がオフィスコンピューター（オフコン）からパソコンに切り替えたため、これに対処した（調整対策推進事業報告参照）。1998年11月現在、オフコンとパソコンを使用する漁協は次のとおりである。

オフコン：県漁連、国頭、恩納、読谷、知念、金武、平良、与那国

パソコン：名護、浦添宜野湾、那覇沿岸、那覇地区、糸満、港川、沖縄市、勝連、与那城、石川、久米島、伊良部

セリ帳：与那原西原、佐敷中城

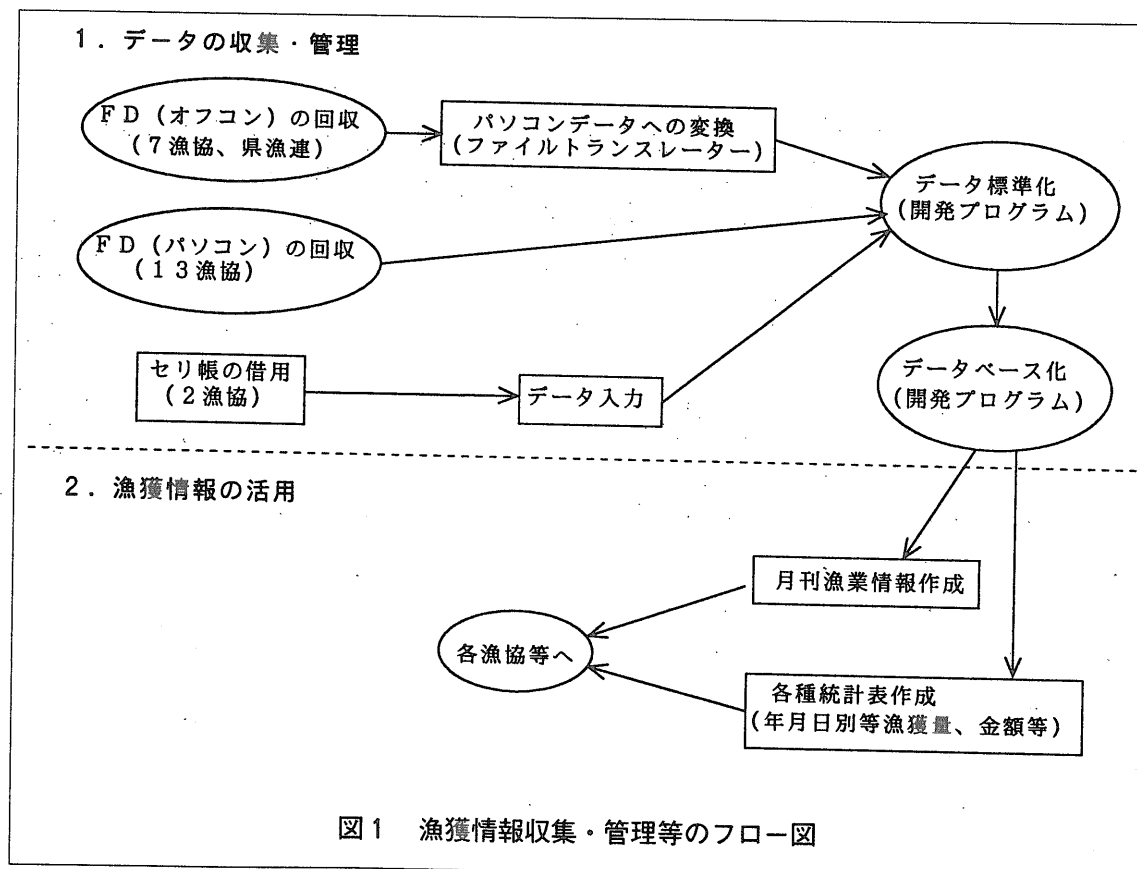


図1 漁獲情報収集・管理等のフロー図